

開かれた議会推進のためのコミュニケーション誌



主な内容

- P2 平成21年第1回定例会概要
- P6 議員年金制度の廃止に関する意見書
- P7 主な審議案件／議決結果
- P8 常任委員会審査報告
- P12 22名が市長に問う
- P24 6月議会会期日程(予定)

平成21年度一般会計予算案や 補正予算案など42議案を慎重審議

平成21年第1回定例会は、2月25日から3月18日までの22日間の会期で開催されました。今議会提案された平成21年度一般会計・国保特別会計などの予算案18件、条例案9件、諮問案8件、その他4件、陳情1件の40議案と議員提出2件の合計42議案が上程され、採決の結果、原案可決40件・一部修正可決1件、配布1件の議決結果となりました。

一般質問では、22人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問を行いました。

主な議案

■平成21年度一般会計予算案（詳しい内容は、3Pに掲載）

■平成21年度一般会計補正予算案（詳しい内容は、4Pに掲載）

■平成20年度一般会計補正予算案（詳しい内容は、4Pに掲載）

■水道事業給水条例の一部を改正する条例について

水道料金の格差を3カ年度で是正し、市内の水道料金の統一を図るため、水道事業給水条例の一部を改正することについて、議会の議決を求めるもの。

■教育委員会委員の任命について

現在欠員となっている教育委員会委員について、塩田貞祐氏を教育委員会委員として任命することについて、議会の同意を求めるもの。

■市役所部設置条例等の一部を改正する条例の制定について

市長の権限に属する事務を分掌させる組織の再編に伴い、市役所部設置条例等の一部を改正する条例を制定することについて、議会の議決を求めるもの。

■意見書の提出

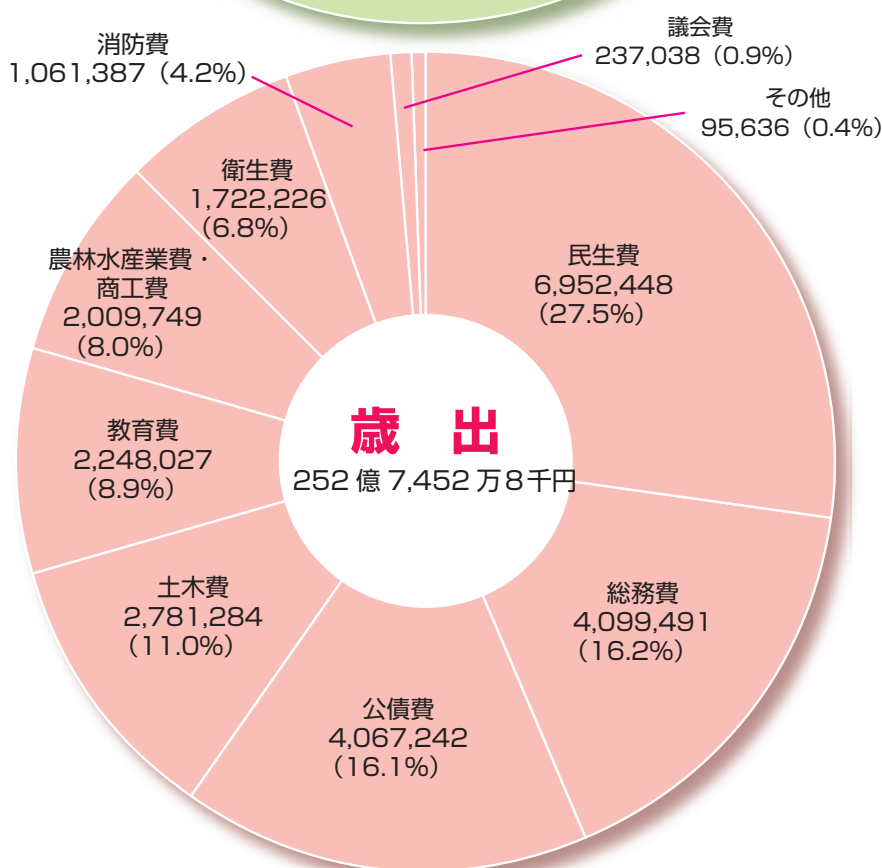
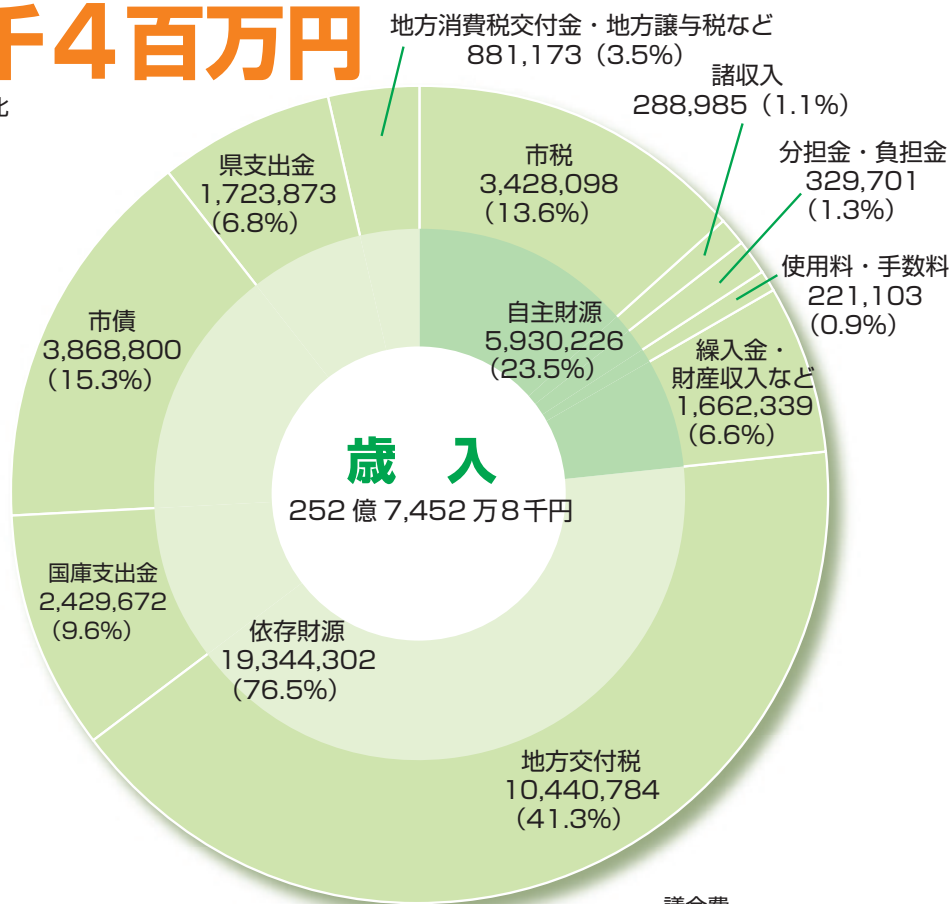
地方議会議員年金制度の廃止に関する意見書（詳しい内容は、6Pに掲載）

厳しい 財政状況！ 財政効率化へ

平成21年度一般会計当初予算

252億7千4百万円

数字は千円。() は全体に占める構成比



一般会計今年度予算は、252億7452万8千円と前年比1・2%の減となっています。

歳入の市税は、前年比4・6%減の34億2809万8千円、

地方交付税は104億4078万4千円と前年より2・2%多く見込まれており、自主財源(市税や使用料・手数料など市自らの収入)は、約59億3千万円と前年と比

べ、約5億円の減と見込まれています。

昨今の厳しい社会情勢の中、依存財源(地方交付税や市債など)に76・5%も頼る厳しい財政状況です。

歳出では、前年に比べ、議会費、総務費、民生費、農林水産業費、消防費、公債費あわせて3億667万円の減と見込まれています。

平成21年度

一般会計補正予算(第1号)案

1億2573万円!

主な歳入としては、国の2次補正としての県支出金7792万円、県緊急雇用創出事業臨時特例補助金1500万円、振興基金繰入金4000万円。歳出としては、営農環境システム整備事業5300万円、地域環境保全事業4000万円、耕作放棄地解消事業870万円。



平成20年度

一般会計補正予算(第10号)案

8億3471万円!

国の平成20年度第2次補正予算に伴う事業費

- ◎定額給付金給付事業費 8億916万円
- ◎子育て応援特別手当支給費 2555万円

平成20年度

一般会計補正予算(第11号)案

5億4078万円!

国の補正予算に伴う「地域活性化・生活対策臨時交付金」を財源とする事業費

主な事業

- ◎防災行政無線 統合整備事業 2億6540万円
- ◎小中学校施設等 整備事業 1億5770万円
- ◎農地保全事業 8000万円



戸別受信機

防災行政無線親局

平成20年度

一般会計補正予算(第12号)案

1億円!

国の平成20年度第2次補正予算に伴う国庫支出金の追加決定があつた事業を計上

- ◎吾妻干拓堤防道路関連事業 1億円

平成21年度一般会計予算

一部修正可決

歳出の総務管理費に予算計上されている「危機管理対策事業（嘱託員3名分の人件費）」を現在配置の1名分を除く新規計上分4,450千円を減額修正。

総務常任委員会で修正可決され、本会議においても委員会報告のとおり修正し可決しました。

【予算案】 危機管理対策事業 927万4千円（3名分）



【修正後】 危機管理対策事業 472万4千円（1名分）

付帯決議

無料開放された「仁田峠循環線」

平成21年度一般会計予算に計上されている市道小浜仁田峠循環線利用適正化事業16,064千円と平成21年度一般会計補正予算に計上されている7,470千円について付帯決議を全会一致で決定。

この路線については、昨年、市道路線審査特別委員会を設置し、市道認定したところである。その際、認定後の道路維持管理費は年額930万円との説明であったが、今回の予算計上は大幅な増額となっている。

さらに市道路線審査特別委員会における付帯決議について、財源の確保など何ら反映されていないことも含め遺憾に思うところである。

よって、本委員会は次のとおり決議する。

1. 市道路線審査特別委員会において説明を受けていた、道路維持管理費930万円についての執行は認めるが、その他の経費については明確な根拠を示してから執行すること。
2. 受益者負担の原則に基づき料金徴収を行うなど、財源確保策を平成21年第2回定例会までに示すこと。

解釈

【付帯決議とは】議案に対する執行上の要望、勧告、留意事項などを議会及び委員会の意思としてまとめたものです。

地方議会議員年金制度の廃止に関する意見書

地方議会議員の年金制度は、地方公務員等共済組合法に基づく互助年金制度として40年を超える歴史を有しており、退職議員やその遺族の生活安定のために大きな役割を果たしている。

近年、地方議会の議員数の減少や年金受給者の増加等により年金財政が厳しい状況にあったことから、平成15年度には給付水準の2割引下げや会員の掛金率の引上げ等が実施されたところである。さらに、市町村合併の進展等に伴い、議員数が減少する一方、退職議員の増加により年金受給者が大幅に増加したこと等から、平成19年度には、地方議会議員年金制度の長期的安定を図るため、給付水準の引下げや負担の引上げのほか、合併による激変緩和策として特例負担金の上乗せ措置などが実施されたところである。

しかしながら、市議会議員年金財政は、平成19年度においても184億円の赤字が生じ、非常に厳しい財政状況となっている。これは、先の制度改正における市町村合併の影響に対する措置が不十分であったことによるものと考えられ、今後も継続的な損失金が生じ、地方議会議員年金制度の存続が憂慮されているところである。

このような中、地方議会議員年金制度は、議員に対する厚遇処置ではないかとの批判があっている。社会保障制度の充実喫緊の課題であるが、公的年金制度とは性格や中身を異にする議員年金制度である。

さらに、地方議会議員年金制度の廃止に向けた議論に当たっては、議員年金への加入は法によって強制されていることに鑑み、年金受給者への給付金、有資格者の受給権及び現役議員への返還金など、多くの課題を早急に整理、検討し、地方議会議員年金制度の廃止に向けた方向性を一刻も早く示すよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年3月18日

長崎県雲仙市議会

衆議院議長	河野洋平	殿
参議院議長	江田五月	殿
内閣総理大臣	麻生太郎	様
総務大臣	鳩山邦夫	様

主な審議案件と議決結果

	審 議 案 件	議決結果
陳情 1 件	「協同出資・協同経営で働く協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情	配 布
条例 9 件	水道事業給水条例の一部改正ほか 8 件	原案可決
予算 18 件	平成 2 1 年度一般会計予算	一部修正可決
	平成 2 0 年度後期高齢者医療特別会計補正予算ほか 1 6 件	原案可決
人事 9 件	教育委員会委員の任命ほか 8 件	原案可決
その他 3 件	損害賠償の額の決定及び和解ほか 2 件	原案可決
条例 1 件 (議員提出分)	議会委員会条例の一部改正	原案可決
意見書 1 件	地方議会議員年金制度の廃止に関する意見書	原案可決

賛 否 表

	議席番号		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	29	
	結	表	大久保	深堀	進藤	前田	上田	原田	吉田	町田	松尾	森山	前川	町田	小畑	佐藤	井上	柴田	小田	岩下	福田	増山	町田	岩永	荒木	中村	中村	石田	元村	
	果	決	信一	善彰	一廣	哲	篤	洋文	美和子	康則	文昭	繁一	治	義博	吉時	靖弘	武久	安宣	孝明	勝	大東	良三	誠	基和	正光	一勲	一明	徳春	康一	
教育委員会委員の任命 (塩田貞祐氏)	可決	16:10	投票（欠席1）																											
水道事業給水条例の一部改正	可決	20:7	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○
平成21年度一般会計予算	一部修正可決	26:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成21年度国民健康保険特別会計予算	可決	26:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方議会議員年金制度の廃止に関する意見書	可決	27:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対

付託案件	審議結果
雲仙市役所部設置条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
長崎県市町村公平委員会の共同設置について	原案可決
雲仙市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	原案可決
平成21年度一般会計予算案について	一部修正可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決10件、一部修正可決1件と決定しました。
主な案件質疑内容は次のとおりです。

平成21年度一般会計予算案

総務

質疑 ● 中期財政計画から見ると雲仙市の財政についてはバランスがとれて、健全財政の感じがしているが。

答弁 ● 公債費、地方債残高とともに中期財政計画の計画額は下回っている。今後考えていかなければならないことは、平成33年度の合併特例措置終了後には、交付税だけで30億円の減が見込まれ、予算規模で90億円程度の削減をしなければなら

ない。今後もシミュレーションをしながら健全財政に努めていきたい。

質疑 ● 危機管理対策事業で、今回の配置はどこを予定しているか。

答弁 ● 今回市民福祉の保護関係、教育委員会を中心に千々石庁舎に配置を予定している。

質疑 ● 対応件数が数件の中での増員の理由は。

答弁 ● 福祉事務所については犯罪に近いケースなど発生している。このような問題ケースについてはもともと訓練を受けた職員がいなかったため精神的にも苦痛を抱えた職員も出てきている。職員の精神的負担の軽減に努めた

い。

質疑 ● 庁舎建設検討事業関係で市長への提言書の取りまとめについていつの時点で提言があるのか。

答弁 ● 重要案件であることから期限を切らずに協議がなされている。協議項目など支障のない範囲でホームページにより公表していきたい。

【意見】
○ 市長交際費の慶弔費については、市民の立場から少しでも削減、見直しをすべきである。

○ 市の財政状況は厳しい状況にあり、職員の早期退職制度の実施や新規採用職員の抑制などによって、職員数の削減、人件費の削減を進めている段階である。平成20年度についても一部減額修正をしたところである。以上のことから、新規計上分を減額修正の動議が出され、全会一致で可決した。

平成20年度市一般会計補正予算(第11号)案

質疑 ● 愛野展望台のひび割れ等の工事は、単年度で完成するのか。

答弁 ● 一部岩盤の表面が崩れ落ちている状況から、モルタル吹き付け工法で行う。また展望台の駐車場及び歩道部分のひびについても改修を計画しているが単年度で完了

する。

質疑 ● バス停留所上屋整備事業で、今回十箇所を予定されているが、執行残が出た場合は増設は可能か。

答弁 ● 入札の状況にもよるが、可能であれば次年度分を追加して実施したい。

雲仙市役所部設置条例等の一部改正する条例の制定

質疑 ● 基盤整備(農林道、ほ場整備、かんがい排水など)について、どういう理由で建設整備部からまた農林水産商工部に再編するのか。

答弁 ● まずは技術者が必要な工事があったり入札をしたりということがあつて建設整備部に統一して集約した。しかし、今回始まった、農地・水・環境保全事業、基盤整備と転作制度の関係など農林水産課との共同作業が

増えてきて農林水産商工部に一括する。

質疑 ● 福祉事務所が千々石に移転する主たる理由は何か。

答弁 ● まずは、子育て、教育、福祉における就学前の子どものことに関し、担当窓口を一元化し「子ども支援課」を設けて事務を一元化してサービスの向上に努めることとした。



山の上公民館 (小浜町)

常任委員会報告

付託案件	審議結果
社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正ほか1件	原案可決
平成20年度一般会計補正予算案ほか1件	原案可決
平成21年度一般会計予算案ほか5件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決10件と決定しました。
主な案件質疑内容は次のとおりです。

社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

社会体育施設として設置している「吾妻弓道場」、「愛野相撲場」及び「吾妻プール」の3施設を廃止しようとするため、条例の一部を改正することについて、議会の議決を求められたもの。

質疑●廃止しようとする愛野相撲場は外観的にも老朽化していないようだが、千々石町の施設のみで大会等の運営が賄えるのか。

答弁●愛野の施設で利用可能なものは千々石町に移設して利用し、現在ある相撲場に土俵を2つ整備し、市の施設として運営していく。

平成20年度一般会計補正予算(第11号)案

質疑●国見御幸児童遊園施設整備事業の内訳について。

答弁●フェンス設置、遊具の撤去、木の伐採等

ある。

質疑●公園内にあるトイレの外装工事は含まれないのか。

答弁●整備の必要性を確認し検討したい。

質疑●生活保護費支給事業において、住宅扶助費の家賃については確認されているのか。

答弁●領収書の写しや振込書の写しなどを取り、確認している。

質疑●学校地デジタル促進事業については膨大な投資と思うが、既存のテレビや配線を利用するの事業はできないのか。

答弁●利用できるアンテナ線などは既存の配線を利用するが、老朽化も進んでおり、地デジ対応も含め国庫補助対象事業でもあるので計画した。なお、授業ではパソコンやデジタルカメラなどによるモニタリング的な活用が多いため共同利用とし、職員室・校長室には新たに設置するが、職員室用は

防犯カメラのモニターの役割もするテレビを考えている。

平成21年度一般会計予算案

質疑●保育所保護者負担金の滞納徴収についてどう考えるか。

答弁●過年度分は家庭訪問徴収、納付書郵送による督促、未納通知により対応している。年間3百万円程度の滞納額が予想されるが、随時家庭訪問などにより徴収していく。

質疑●市内の私立保育所と協議し、共通意識で滞納徴収に取り組む考えはないのか。

答弁●現年度分は保育所を通じて徴収をしているが、過年度分についても保育所に協力を求めて滞納徴収に前向きに取り組みたい。

質疑●社会福祉協議会補助金は大半が職員給与であるがその内訳について

は。

答弁●職員の給与が経験年数に応じた調整が取れていなかったため、平成21年度は適正な市の補助基準額を制定し算出した。

質疑●障害者自立支援事業で昨年から増えた3つの新規事業は何か、また平成21年度からさらに支援事業が増えるのか。

答弁●行動する場合において著しく困難を要する障害者に対してヘルパーが外出の移動などを介助する行動援護給付費、その他サービス利用計画作成費、新体系の入所支援の3つであり、平成21年度から事業は増える。

質疑●妊婦健診事業については良い事業と評価するが、2年間のみの事業か、またその後市としての計画は。

答弁●国の補助期間が2年間限定であり、2年後以降の事業は未定である。

平成21年度温泉浴場事業特別会計予算案

質疑●温泉使用料が減額計上されているが、前年並みに予算計上すべきではないか。

答弁●源泉使用料が値上りした関係で維持補修などができず、立ち寄り湯的な要素を生かして入場者を増やすことが難しい。

【付帯決議】昨年度と比べて、16万8千円の減額予算となっているが、この予算は事業予算であるにもかかわらず、わずかの減額予算であり担当課の創意工夫が見られない。大幅な増は見込めなくとも工夫された予算計上を検討すべきである。

また、浜の湯は小浜地区住民の生活の一部であるお風呂として親しまれてきているが、小浜温泉の施設と捉えるなら、所管は観光関係の部署になるのではないか。また、駐車場がないことを考慮、工夫し、発展させるように位置づけを検討すべきである。

教育厚生

付託案件	審議結果
水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
平成20年度一般会計補正予算案ほか3件	原案可決
平成21年度一般会計予算案ほか4件	原案可決
損害賠償の額の決定及び和解	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決11件と決定しました。
主な案件質疑内容は次のとおりです。

水道事業給水条例の一部を改正する条例

合併後の水道料金の格差を是正し、市内の水道料金の統一を図るため、条例の一部改正をするもの。

質疑●減収が見込まれる1千万円の補填はどのように考えているか。

答弁●半年前倒しする分の財源補填は、今後十分協議をしていきたい。その後は本来の水道会計としての経営ができるよう、現状の収益に近づけていきたい。

平成20年度一般会計補正予算(第11号)案

質疑●国の方針として最低制限価格を引き上げよう指導がされているとのことであるが、現在の雲仙市の最低制限価格で業者は利益を上げ、十分な工事ができると思われるか。

答弁●近年、競争が激化し、最低制限価格に近い金額で入札が行われる傾向にあると思われる。こ

建設

の意見については入札の担当課にも伝え、今後の参考にしていきたい。

質疑●農地保全事業において、地域からの要望も多いと思われるが、総予算はいくらか。

答弁●今回の補正予算と平成21年度当初予算の合計で1億3262万5千円となり、これまで受益者から要望が出されていた分については、概ね事業の実施ができると思われる。

平成21年度一般会計予算案

質疑●高齢者向け優良賃貸住宅補助事業について、優良賃貸住宅の定義及び補助額は。

答弁●バリアフリー化、手すりなどの設置及び緊急時の対応が可能な高齢者専用の賃貸住宅をいい、補助額は概ね2分の1である。

質疑●市道小浜仁田峠循環



千々石木場小浜山領線（小浜町）

環線利用適正化事業において、市道の管理料として、市道路線審査特別委員会に示されていた金額と予算計上額に大きな開きがあるが、算出根拠は。

答弁●特殊な道路で常時監視が必要であるため、今回の予算計上となった。当初、県が試算した管理料について、市としても十分な精査が必要であった。

質疑●交付税470万円、入湯税860万円の収入が見込まれるとの説明であったが、これらについても確定した金額で

はなく、料金徴収など何らかの財源措置が必要だと思ふが。

答弁●環境協力金や駐車場の指定管理なども含めて検討したい。

※市道小浜仁田峠循環線利用適正化事業においては、昨年の市道路線審査特別委員会において説明された金額と、今回予算計上された金額が大きく異なり、管理費の930万円以外の経費については認めがたいなどさまざまな意見が出されたが、平成21年度当初予算は雲仙市全体の事業に影響を与えるため、否決することは難しいとの判断に至った。本議案に対して、全会一致で付帯決議を付することに決定した。（付帯決議の内容は5ページに掲載）

損害賠償の額の決定及び和解

質疑●市道の仕切弁などによる段差の確認はどのようにされているか。

答弁●平成21年度のゼロ予算事業で道路情報提供

事業を立ち上げることにより、早期の対応が可能になると思われる。
意見●危険箇所の確認を十分に行ってほしい。

平成21年度一般会計補正予算(第1号)

質疑●市道小浜仁田峠循環線利用適正化事業において、管理体制を3名から5名へ増員した理由は。

答弁●緊急雇用対策として、一年間の暫定的な措置である。
※本議案に対して、全会一致で付帯決議を付することに決定した。



国見南部地区基幹改良整備事業（国見町）

常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
平成20年度一般会計補正予算案	原案可決
平成21年度一般会計予算案ほか3件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決5件と決定しました。
主な案件質疑内容は次のとおりです

平成20年度一般会計補正予算(第11号)案

主なものとして、歳入では、農業・食品産業強化対策整備交付金(産地競争力の強化)の増額、歳出では有害鳥獣被害対策事業、原油高騰緊急特別対策事業の増額、小浜港みなのふるさとふれあい事業の新設など。

質疑●原油高騰緊急特別対策事業は認定農業者であれば農業以外の収入があっても交付対象となり、専業と思われる農家は対象となっていないようだが、取り扱いの規定はどのようにしているのか。

答弁●事業を始める時に様々な議論をした結果、基本的には農業で生計を立てている方を考え、将来の農業経営改善計画を認定された認定農業者をまず対象と考えた。その他に農家の方でまだ認定農業者になっていない方

も考慮し、専業農家の基準を規定して今回のような取り扱いとした。

質疑●漁業用の燃油高騰緊急特別対策事業で正組合員へA重油1ℓ当たり10円を助成しているが、市外販売店で購入した方については助成の対象外となっている。市内に住所を有している正組合員であれば、対象とすべきではないのか。

答弁●基本的には漁業者のために助成を行い、二次的には地産地消の観点から市内販売店での購入を対象とした。市外販売店から購入されていた方には、一時的にでも市内販売店からの購入をお願いした。

質疑●小浜港みなのふるさとふれあい事業で施設を整備するように計画されているが、県の事業で行う施設は何か。

答弁●足湯・湯釜及び関連施設を県の事業、源泉井・湯棚・芝生広場を市の事業で行う計画である。

平成21年度一般会計予算案

質疑●有害鳥獣被害対策を島原半島地域野生鳥獣被害防止対策協議会で協議をされているが、どのようなことを協議しているのか。

答弁●現在、イノシシ大学の開催を検討しており、島原半島全体で統一した取り組みについて協議している。

質疑●商店街再発見支援事業と新商店街活性化モデル事業は平成21年度限りの補助金か。

答弁●県の補助事業を活用し、商店街再発見支援事業は3年間、新商店街

活性化モデル事業は1年間を計画している。

質疑●商工会への街路灯維持管理費補助金が計上されているが、自治会が設置している防犯灯に対する補助率とどのように区分しているか。

答弁●自治会の防犯灯は3分の2を補助しているが、商工会が設置している街路灯は商工振興の目的もあるため2分の1を補助している。

質疑●アンテナショップ調査事業で場所の選定などを3市の審議会で行われているが、特産品などは定期的な問題もあることから1年間通して運営する考えか。

答弁●今後、審議会と協議していくことだが、基本的にプロパーなど採用し、1年間通して開設するように考えている。季節的な特産品について、

て、随時、時期に合わせて入れ替えをしていく考えである。

質疑●吾妻と千々石の直売所で土地や建物など使用料の取り扱いが異なっており、平成21年度から調整をされるようだが、千々石農産物直売所の敷地面積が広く、使用料に大きな差がある点はどうように検討したのか。

答弁●土地の使用料は千々石農産物直売所が面積も広く、国道沿いということもあり土地の評価額に違いがあるため。



千々石農産物直売所「ちぢわんもん」

を導入!!

原田洋文	12 ページ
町田康	13
町田誠	14
岩下勝	14
深堀善彰	15
進藤義博	15
町田村勲	16
中森山繁	17
中村一明	17
増山良三	18

佐藤靖弘	18
荒木正光	19
吉田美和子	19
福田大東	20
大久保信一	20
松尾文昭	21
上田篤	21
小田孝明	22
岩永基和	22
柴田安宣	23
元村康一	23

原田 洋文 議員
南串山町



産業の振興策を問う

原田議員 今年度の農漁業の目玉事業は何か。

奥村市長 食と農支援事業、イノシシ対策、堆肥モデル事業、提案型事業などである。

原田議員 農漁業後継者対策はどうなっているか。

酒井農林水産商工部長 就農予定者、新規就漁業者への助成をする。

原田議員 耕作放棄地対策はどうなっているか。

酒井部長 耕作放棄地有効利用促進事業・耕作放棄地復旧活動支援事業を活用し解消に努めている。

原田議員 漁業者も大変だが稚魚の放流事業など積極的に進めるべきと思うがどうか。

酒井部長 橋湾では、アワビ、車エビ、ヒラメなどの放流を継続して実施したい。

原田議員 イノシシ対策だが、農業被害だけでなく住宅街出沒もあり大変だが、多くの人に免許など取れるよう工夫してはどうか。

酒井部長 積極的に取り組んでいきたい。

防災救急対策の問題点

原田議員 雲仙市には県央島原の二つの広域消防があるが統一は出来ないのか。

今崎市民生活部長 国は30万人規模の組織を打ち出しており県で協議されているが結論が出ていない。県央・島原の合併が一番だと考えている。

原田議員 南串地区では救急車の増配の要望が続いているがどうなっているのか。

今崎部長 経費が多額で現状では難しい。

原田議員 朝の6時のチャイムは、生活のリズム。市民の声は聞き入れられないのか。

今崎部長 市の一体性からも当面現在の時刻で吹鳴していきたい。

原田議員 ドクターヘリのヘリポートは市民に広報すべきではないか。

今崎部長 市民に知らせるようにしたい。



イノシシによる荒廃地

その他の質問事項

・市道後山尾登線の整備はどのようになっているか。
・飲料水を地下水に頼っている地域としては、飲料水は安全か大丈夫かと心配だがどうか。

一問一答方式

22名の議員が問う

一般質問

(一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています)



奥村市長
奥村 康則 議員
まちだ やすのり 小浜町

雲仙市公共工事 発注及び物品調 達について

町田議員 市内商工業者は地域住民を多く雇用し、現在の雲仙市消防団員数は1554名で、商工業に関わる者は、1千名を超える団員であり、祭りやイベントへ参加協力するなど地域活動に大きく寄与している。また、大災害発生時の緊急対応なども市内業者の存在が重要である。雲仙市は、市民の雇用の確保という意味からも、本社が雲仙市内にある会社を入札においても、物品調達においても優先すべきである。昨年10月、商工会から「公共工事発注及び物品調達について」請願書が出されたが市の考えは。

奥村市長 市内商工業の振興、地場産業の育成については施策の重要課題として取り組んでいる。

小川総務部長 市内企業への優先発注に努めている。

町田議員 では、市内の産業の振興を図ることを目的とする「産業まつり」の昨年のポスターやチラシが、なぜ長崎市の業者に落とされたのか、本当に残念でならない。カラーポスター300枚、チラシ5万1千枚で20万円ぐらいの見積り競争だった。

農産物、海産物においては、地産地消をするために市長は一生懸命頑張っておられる。商工業においても地場産業の育成を言っておられるのに末端の職員まで考えが届いていない。どうか、市長の考えを各課、係の人まで徹底させてもらいた

い。

インフルエンザ 対策について

町田議員 インフルエン

ザの予防接種に対して雲仙市からの補助は、小学校就学前までの子どもには補助はあるが小学生にはない。子どもの健康、保護者の負担を考え小学生まで拡大する考えは。

今崎市民生活部長 小学生になると一定の抵抗力もつき、インフルエンザによる合併症の危険性も低いので、公費負担の対策から除いている。

町田議員 諫早市では昨年、小学6年生まで予防接種の補助対象で、補助が行われている。

ワクチン予防接種料は1回3千円で、両親、小学生3人の家庭では、5人掛ける3千円イコール1万5千円、12歳までの小学生は2回接種のため、プラス9千円で、合計2万4千円となる。何とか諫早市のように小学生まで補助ができないか検討してもらいたい。

その他の質問事項

・新型インフルエンザ対策について



奥村 正人

町田 誠 議員

新庁舎建設について

町田議員 合併協議会で協定が行われていた市庁舎建設の進捗状況について、もちろん市庁舎建設市民懇話会で論議が行われているが、市長の平成21年度施政方針に内容が出ていなかった。新庁舎建設を視野に市長個人の考えを聞かせてもらいたい。

現在の市庁舎は、身体に障害を持つておられる方にとっては全館利用ができない施設で公平さに欠けた公共施設である。今後さらに高齢化も進み、エレベーター等の設置がないため、特に車いすあるいは押し車シニアカー等の利用者は、2階3階には用事があっても

行けない。議会の傍聴さえできず、本庁3階で開かれる会議の地域代表の役職にさえつけない。

公共施設は体に障害を持つていても健康者の方でも同等の公平な姿で利用できるのが原則であり大事なことは人間として権利がある。障害者用トイレの充実にしても庁舎内の一部にはあるがその他のトイレの改修は考えていないのか。これからの行政は、特に障害者の方に対しても障害を克服する意味で、高齢者の方には今まで培われてきたノウハウをいろんな役に率先してチャレンジして、知恵を出していただきたい。雲仙市の未来に貢献したい。

奥村市長 庁舎建設に関する質問に対して、これまで私は一貫して合併協定確認事項を基本とする旨の答弁をしている。

小川総務部長 本庁舎にはエレベーターはなく、身体障害者用トイレも1階にしかない。体の自由な方、高齢の方には大

変不便をかけている。

町田議員 障害者用トイレが400万円、エレベーターが3千万円、仮設の庁舎に高額な投資であることは理解できる。

市長室の整備について予算書決算書に説明項目がない。雲仙市だけが市長室にトイレが必要なのか、多くの人が知らないうちに新しく設置してあり納得がいけない。

新型インフルエ

ンザ対策

町田議員 この件は前者質問でおおかた共通する点で、省略する。ただ一点だけ、現在発症しているのは高病原性なのか、また低病原性鳥インフルエンザウイルスか。

今崎市民生活部長 今回発生したのはH7N6型で一番心配しているのはH5N1型で平成20年度は国内での発症は見られない。



奥村 正人

岩下 勝 議員

地域経済の活性化について

岩下議員 地域経済の活性化には雇用創出が期待出来る企業誘致が一番だが、定住促進対策も有効な施策と考える。本市の現状はどうなのか、また今後の方策については。

奥村市長 東京・大阪等で開催された長崎田舎暮らしキャラバンにて移住希望者に情報提供や、具体的な定住相談を実施、

今日まで102件の相談があり、7世帯9人が定住されている。課題として、定住希望者の方々が理想と現実とのギャップに対応の難しさを痛感する。今後も根気強く対策に取り組む。

岩下議員 全国2万3千の小学校を対象に、1週間程度宿泊しながら農業を始めさまざまな体験をする「子ども農山漁村交流プロジェクト」事業が展開されますが雲仙市も積極的に取り組むべきではないか。

中山観光物産まちづくり推進本部長 この事業は農漁村民泊が基本であり、本市においては民家民泊等の受け入れ体制が十分に整っていない現状であるが、修学旅行の体験素材は充実している。宿泊のうち1泊は必ず民泊が基本であり、あとは一般宿泊施設でも利用できるということなので可能性を探っていきたい。

学校給食について

岩下議員 合併時に持ち寄った滞納額約1300万円の徴収状況と、平成20年2月までの累計で1989万円と滞納額が増加しているが徴収方法

について伺いたい。

塩田教育長 平成19年度までの滞納者108名には督促状の送付、職員による夜間訪問による徴収や高額滞納者に対し分割納入等について説明を行い納付意識を促し、訪問件数75件、徴収件数27件の結果である。今後も学校、PTA、教育委員会等関係機関と連携を図り納付率向上に努めたい。

老朽化した橋の架け替えについて

岩下議員 瑞穂町の松江川河口に架かる寄合橋を改修について、自治会長を通じて要望をされているが。

島田建設整備部長 昭和34年に架けられ幅員も狭く、緊急車両の通行に支障をきたす、構造等の面からしても何らかの対応は必要と考えている。



ふかほり よしあき 国見町
深堀 善彰 議員

今後の地域の活性化は

深堀議員 地域づくりを積極的に進めるための基本的な対策をどのように考えているか。

奥村市長 地域づくりは、地域住民が主体的に参画し、地域の課題を解決する活動と考え、市としては、地域づくり補助金による財政的な支援や情報提供などによって地域づくりを積極的に推進する。また、本年度より『地域自立活動創出補助金』を創設し、更なる地域の活動を活性化させるため推進する。

深堀議員 職員の休日の日に対し、職員も一市民という視点で考えた時、職務外での地域への参画をどのように考えているか。

奥村市長 地域の広域化、職員数の削減から、職員1人当たりの事務量の増大などで、旧町時代と同じように職員が積極的な対応を行うことが、

難しくなっている。

深堀議員 「兵庫県篠山市の「地域づくりサポートで職員配置」の例を参考に提言。」

大切な学校給食は！

深堀議員 一教材とも考えられる学校給食に対する基本的な考え方は。

塩田教育長 学校教育活動の一環として、給食の時間は、食育の要の一つとして、児童生徒に望ましい食習慣の形成に資するものと重視している。

深堀議員 学校給食費の未納対策は。

山野教育次長 現在、未納者に対して督促状を出し、夜間訪問等を実施しているが、それだけで未納者が減っていくのかと疑問を感じている。また、具体的な手立てが足りなかったと反省している。

子育て支援について

深堀議員 子育て世代（小・中学生を含む）に対する支援を今後どのように推進していくのか。

奥村市長 9月議会に議員が質問指摘された今後の子育て支援について、今回の組織の改革で、

『こども支援課』を創設する。更に、事務所を教育委員会と同一庁舎に置くことで、相談者の利便性を向上させると共に、子育て、福祉、教育がより密接に展開できる。

辻市民福祉部長 子育てに係る経済的負担の軽減は、後期次世代育成行動計画の策定に併せ、子育て支援の施策に対する多様なニーズへの対応について調査研究していく。

山野次長 中学生を持つ保護者に対する補助制度については、市の財政状況等を勘案しながら今後研究していく。

野犬の対策は！

深堀議員 現状と課題を捉え、今後の野犬対策は。

今崎市民生活部長 本年度は、畜犬愛護協会との共同による一斉捕獲を実施する他、野犬捕獲作業員を雇用し、専用のトラックを配備して対応する。また、野犬を増やさないために、犬の正しい飼い方など、更なる啓発を図る。

その他の質問事項

・AED（自動対外式助細動器）の導入と活用をどのように進めるのか。



しんどう かずひろ 瑞穂町
進藤 一廣 議員

教育行政と市政の連携は

進藤議員 「特色ある地域づくり」の観点から教育委員会との意見や情報の交換を密にして、それを反映させる考えはないか。

奥村市長 市内には歴史的な街や文化的景観、郷土芸能など他に誇れる文化遺産が数多くあり、それらを活用し提供して観光の振興を図りたい。

教育委員会との連携については、種々の会合で話し合いを行っており、文化面の推進も図ってもらうようにお願いしている。教育行政や教育を取り巻く環境について、打開策や推進に努められる

か模索し、答えを出したい。

中小企業への振興策は

進藤議員 「中小企業経営緊急安定化対策資金利子助成事業」が採択された。利活用者は多いと聞くが、短期の事業であることから、これを長期化あるいは市独自の方策を考案する考えはないか。

酒井農林水産商工部長

今回の取り組みは昨年後半の厳しい経済情勢により、年末・年度末の資金繰りの緊急経済対策として制度創設されたもので、長期継続することは制度創設の趣旨に相反するもので、新年度の制度創設は今後の経済状況を鑑み検証していきたい。市独自の方策については、国の景気対策の状況と経済情勢を踏まえながら、時代に即した効果的な対策を探りたい。

農業経営の向上について

進藤議員 近年、農業者内部の法人化によらない大企業や株式会社との農業参入の台頭がみられるが、圃場・基盤整備事業や認定農業者、担い手育成に取り組む本市農業者への影響をどのように認識し、対応していく方針か。

酒井部長 農林水産省の資料では、一般企業の農業参入法人を500にするとという目標が設定されており、企業の生産する農産物のシェアは高くなり、市の農産物販売に影響があると考えている。ただ、農業法人と対立するだけではなく、雇用の確保などを活用し、共生し成長する施策も考えたい。

市域への特定法人の参入は法で規制されており、既存の農家の法人化を推進し、安定的な農業経営の方策を考えている。



まちだ よしひろ
町田 義博 議員
千々石町

市の行財政は

町田議員 世界的不況・経済悪化の中で本市の行財政をどう捉えられていて今後の長期計画への影響はどう考えられているか。

奥村市長 国も地方も景気動向で左右される現代で今後大きな影響を危惧している。基礎的事業や義務的経費は社会の状況に応じ柔軟に対応したい。

小川総務部長 行政改革集中プランを現在実施中で今後急激な社会情勢変化も予想され意見等聞き進んでいる。

町田議員 予算縮小や行政改革は、市民が納得できるような丁寧な説明で推進されるようお願いする。

水道料金改定と水道整備方針は

町田議員 水道料金統一は答申より一年経過し今回の改定までの考え方は。

また、水道振興計画で平成28年度まで83億円の事業実施は可能か。その内容は。

奥村市長 料金改定時期は迷ったが、半年間前倒しは最善の方法と思う。

島田建設整備部長 企業会計経営が成り立つ料金で、当初は平成22年4月実施であったが前倒しした。

施設整備は今後市内一事業体で運営できるように段階的に進めて行くが、財政状況を勘案する必要がある。

町田議員 簡易水道を上水道に統合すると独立採算会計となるので、事業計画によつては料金に跳ね返ることを念頭に、計画実施されることを要望しておく。

交通網の整備について

町田議員 旧町間を結ぶ道路(国道代替)整備で山領千々石線や千々石後平線の整備方針は。また、国道57号曲り地区整備へ、市の協力体勢の考え方は。

島田部長 本場山領線は平成21年度着手し、後平線は平成23年度完了予定で国道のバイパスの路線として整備する。

国道57号については地元と連絡や調整など積極的に協力し、早期完了に向けて取り組みたい。

その他の質問事項

- ・新規の地域自立活動創出補助について活動内容や価値提供の考え方は。

- ・市内交通体系整備で乗合タクシー運行実証実験でのルートの組み方は。国見から南串山間の市内一体的な交通網整備の方針について。
- ・市陸上競技場の建設基本計画の活用方法や場所施設内容について。



なかむら いさお
中村 勲 議員
千々石町

教育委員の選任について

中村議員 本件については、私が通告後「塩田貞祐」氏を上程され、本定例議会において、賛成多数で、承認可決されたので、今後の多様化する教育界の中で良きリーダーとしての活躍を期待して、取り下げる。

各総合支所の業務内容と、支所長の権限について

中村議員 今回また、雲仙市の組織機構の一部が変更されるようであるが、各総合支所の方向性はどのようになるのか、総合支所の職員が減少す

ることで、旧各町の活性化事業及び住民サービスが鈍化しつつあると思うが、例えば、千々石総合支所の場合、合併当初(平成17年10月)24名であつた職員が、年々減少し、平成20年4月には、15名になっている。このような中で、住民サービスや、産業祭、文化活動にも支障をきたしている。また、産業祭は、第1回目、昨年12月に小浜で開催されたが、開催地以外の住民は、ほとんど関係ないようであるが、今後もこのような方法で開催する予定なのか。また、公園管理については、本庁直轄になっているが、支所に任せられないのか。

したほうが住民サービスができるのか選択と集中を常に肝に銘じながら頑張っていかなければならないと考えている。

小川総務部長 各総合支所においては、予算の配分ということで配分枠もある中で、その範囲で実施して頂きたい。公園などの予算配分については、今後協議していきたい。

金子副市長 産業祭などについては第2回も場所を変えて計画したいが、自主的に判断されるのであれば、それに対して財政的に支援ができるということであれば別途検討したい。

その他の質問事項

- ・島原半島3市のジオパークについて。
- ・請願書(雲仙市公共工事発注および物品調達に関する)の取り扱いについて。



もりやま しげいち 国見町
森山 繁一 議員

市内土地改良区について

森山議員 土地改良区の現状と今後の課題は。

島田建設整備部長 市内に県営圃場整備事業古江地区の西郷土地改良区畑地帯総合整備事業山田原地区の山田原土地改良区、畑地帯総合整備事業鬼池地区の鬼池土地改良区の3地区が事業を実施中。県営圃場事業、国見中部地区の土黒土地改良区他5地区は事業が完了、償還業務を行っている。事業を計画しているのが吾妻町山田原2期地区及び国見町八斗木地区

は新規採択に向けて推進している。

森山議員 改良区の運営は経常賦課金、市の助成金で運営されている。経常賦課金は発足と同時に金額を設定、市の事務費助成を視野に入れた計算をされていると思う。その市の事務費助成は。

島田部長 事務業務以外に賦課金徴収、施設等完了後の手直し、国への営農調査、農地集積と農地の活用に関わる国への報告業務など存在することから、事業完了後から1年目90%、2年目80%、3年目70%と段階的に補助、4年目以降は自主運営にて活動できるよう調整を行っている。自主運営に向けての努力をお願いし、市の財政状況もご理解いただきたい。

森山議員 用・排水路の整備について、用水路については、農地保全事業で水路横コンクリート打ちが実施。同用排水路についてはどのように考えているのか。

島田部長 用水路脇の天端から浸透水や自然沈下による通水不能を抑制するための未然防水策として農地保全事業にて助成している。排水路については、田面より低い所に位置して施工されている。用水路のような通水障害が発生することはないと考えている。また排水路内の土砂の堆積や除草は、農地、水、環境保全向上対策事業で対応を行っている。

その他の質問事項

- ・定額給付金について。
- ・雲仙ゆめみらい商品券について。



なかむら かずあき 南串山町
中村 一明 議員

離職者離農者対策について

中村議員 企業不況による解雇者が増えているがその対策はどのように考えているのか。また解雇に伴う営農再開者に対する支援対策はどのように考えているのか。

奥村市長 雇用再生特別交付金と非正規労働者や中高年齢者の方などに対する雇用調整の進行が懸念されることから一時的に就業していただくため緊急雇用創出事業臨時特別交付金を創設基金として積立補助金として交付する制度である。市としても県が創出した基金を積極的に活用し雇用確保を中心とした事業の推進に努めていく。

平成20年度から雲仙トリアル事業を実施経営改革に意欲ある事業者に対し助成を行うものである。雲仙市へUターンの希望者には各種講座を受講し技能を修得し市内の企業への就職を勧めている。

に努めていく。

小川総務部長 国の構造改革三位一体の改革により地方交付税が削減される中、雲仙市定員適正化に沿った職員数を図っている。

中村議員 職員適正者数何名か。

酒井農林水産商工部長 離職者、離農者の再開を支援することは重要なことである。離農者も新規就農者と同様な取扱いとなり、様々な優遇措置がある。担い手育成総合支援協議会において農業に関する相談窓口を設置し、支援体制を充実させる。野菜価格の下落については野菜価格安定制度を推進していく。

小川部長 最終的に、定員適正化計画は、350人としている。

バス停車帯確保について

中村議員 南串中学校前バス停確保について農道の新設に伴う交差点が一つ増えたため停車帯が必要であるが。

島田建設整備部長 停車帯が必要であるが用地の確保が困難なため、県では計画されていないが整備の必要性はあるとは考えている。

住民サービスについて

中村議員 職員の減少に伴う市としての住民サービスはどう対応されるのか。



増山 良三 議員
小浜町

雲仙ブランドの課題と対策

増山議員 本市は15団体27品目の雲仙ブランドを認定しているが、今後の展開が気になるところである。

平成18年8月、ブランド認定委員会を設置以来、どのような審議等をしたのか、これまでの経過と対策について尋ねた。

奥村市長 雲仙ブランド事業は、本市総合計画の基本方針の「力強い産業と仕事づくり」の中の施策で、他地域との差別化を図り、有利な販売につなげて、農林水産業の経営安定を達成し、本市の知名度とイメージアップを目指したい。

認定委員会は、平成18年10月に、第1回を開催

し、雲仙ブランドのコンセプト、販売方法、ロゴマークの決定、認定要項や認定基準、認定審査等の協議を6回行っている。

委員会の意見は認定団体に伝達し、行政で支援できる部分は対応しているところである。

中山観光物産まちづくり推進本部長

ブランドに関するイベントは、雲仙市物産フェアを長崎市で3回、長崎市と共同で熊本で1回、福岡で3回、東京での商談会等を行っている。

また、ブランド食材による試食会や、干拓道路の直売所での試験販売等もしてきた。

今後の対応については平成21年度より、さらに検討を深めて進めたい。

増山議員

平成18年3月に調査を依頼した東京の総合ブランド研究所の「雲仙市地域ブランド」に関する報告の未利用や、今後の対策として利用可能な「ブランドの資産評価」等の取扱いも今後の課題として残っているようである。



◎雲仙ブランド認定商品

- | | | | |
|------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1. 吾妻天塩麦みそ | 9. 雲仙こぶ高菜漬け | 17. 雲仙茶特選極上 | 25. 特別栽培米「にこまる」 |
| 2. 吾妻麦みそ | 10. 雲仙手作りこんにやく | 18. 瑞穂産牡蠣 | 26. 雲仙岩ガキ |
| 3. 吾妻米みそ | 11. 雲仙こぶ高菜まんじゅう | 19. 瑞穂産あさり | 27. 小浜特別栽培馬鈴薯 |
| 4. 吾妻合わせみそ | 12. 梅干し | 20. エタリの塩辛 | |
| 5. 吾妻納豆みそ | 13. 雲仙こぶ高菜生葉 | 21. 塩の宝石 | |
| 6. 吾妻鉄火みそ | 14. 愛の小町（馬鈴薯） | 22. 雲仙グリーンメロン | |
| 7. 苺ジャム | 15. 雲仙スターチス | 23. 雲仙ブリ | |
| 8. 柚子こしょう | 16. 八斗木白葱 | 24. 雲仙トラフグ | |

佐藤 靖弘 議員
小浜町



木場山領線道路新設改良事業について

佐藤議員 事業の今後のスケジュールやルート、道路の規格は。

島田建設整備部長

平成19年度に概略設計を行い、計画した路線をもとに平成21年度に詳細な測量、調査設計を実施し、路線構造等を決定し、全体計画を策定したい。

事業計画年度については、全体事業計画に基づき計画する。道路の計画、構造等は測量調査の結果をもとに最終的に判断する。私も殊にこの路線は希望する路線である。

佐藤議員 新設工事箇所は小浜側と思うが、改良工事は。

島田部長

大体全長が3300m。学校給食センターの上方から路線が始まり、その路線が400m改良工事、新設が1300m、小浜の方に入り改良工事が1600mという路線。

佐藤議員

木場と山領の境界付近には、破砕帯のような第1種危険地域があると聞いたが。

島田部長

小耳に挟んでいる。測量試験を開始して、地権者の協力を頂き、地元と十分話し合いをしていく。

浄化槽整備について

佐藤議員

浄化槽市町村整備事業については、瑞穂、吾妻の中山間地域では整備を進める一方で、

それ以外の地域については、個人設置型により浄化槽整備を進める方針か。

島田部長

現在国の認可を受けている公共下水道認可計画には、国見・南串山・小浜の3地区は入っていないので、現在のところは合併浄化槽設置で対応している。平成26年以降については、人口の推移、財政状況、住民のニーズ等を総合的に勘案して対応していく。

その他の質問事項

- ・有害鳥獣被害防止対策事業の具体的な対策は。
- ・今後の新中山間地支援制度策定への要望活動は。
- ・観光圏整備構想事業について。



あらき まさみつ
荒木 正光 議員
千々石町

千々石川の清掃を

荒木議員 千々石川は水量が多く、平成7年の渇水時には長崎市に水を提供したこともある。以前は川魚・蛭などもいたが今は川竹が川渕より高く茂っている。水害が起きないうちに除去してほしい。また、橘公園から海岸までの間に7つの頭首工がある。平成18年度に一箇所改良されているが、綺麗な川を維持するため他箇所の整備が必要ではないか。

島田建設整備部長 千々

石川だけでなく雑草が繁茂している箇所が増えていく。可能な限り除去に

努める。頭首工設置については要望書の提出があれば県と協議をしたい。

金婚式の表彰を望む

荒木議員 旧町当時は町長が金婚者・長寿者を表彰していた。新市になったら本人が支所窓口で貰ってくるだけ。南島原市では老人クラブ大会で、市長が表彰している。雲仙市の基礎を固めて来られた方々に、気持ちを込めて表彰できないか。

奥村市長 今後、50年間

風雪を耐え抜かれた金婚夫婦に対し、会場で表彰しねぎらいの言葉をかけようようにしたい。

水道施設の推進は

荒木議員 国見、瑞穂地区の老朽化した施設を更

新するとあるが、更新しないと使えないのか。国見、瑞穂、千々石の水道料金を引き上げるので、大義名分上やり変えるのか。また、簡易水道を統合整備し、上水道へ変更する計画は千々石と愛野との水道を合併する計画なのか。

島田部長 瑞穂地区は漏

水事故が多く、年次計画でやり変えている。愛野と千々石は区分した形で変更認可をする。愛野地区は給水人口を上回っている。千々石の施設には管理システムがないので、今回それぞれに変更認可をするものである。

その他の質問事項

- ・年金医療制度について。
- ・交通網の整備について。
- ・下水処理施設整備の推進について。
- ・市公立学校施設耐震化事業の推進について。



よしだ みわこ
吉田美和子 議員
瑞穂町

消費者行政を問う

吉田議員 平成20年第4回定例会においても質問をしたが、かなりの反響があり、再度、消費者行政について尋ねたい。県は消費生活センター未設置の市町村に対して、開設を求めるよう働きかけるとのことであるが、それについて市の考えは。

今崎市民生活部長 現時

点では、人口や相談件数から、本市の規模に応じた配置として消費生活専門相談員を一名配置している。また、平成21年4月から担当者への直通電話が開設されることになった。

吉田議員 直通電話の開設は、市民の皆さんにとって相談が受け易くなり、また覚えやすい番号なので、お困りの方は是非かけてほしい。

only 387-0330 (ナヤミゼロ)

カードで引き落としをされる方は、支払い通知の確認をして、スキミング被害にあつてないかなど、広報紙を通じ注意を促してもらいたい。

本市の理想の子ども像は

吉田議員 昨年、全国的に行われた体力テスト・学力テストを児童生徒が受けたが、その結果を今後の指導にどう活かされるのか。

塩田教育長 調査結果を

受けて、各学校が明らかになった課題を考え、授業改善など図り、職員一丸となって検討し取り組みたい。

吉田議員 雲仙市基本方針6の中に「明日を担う人づくり」という項目があるが、本市の理想の子ども像があるか尋ねたい。

奥村市長 今後子ども

たちには、国際的に活躍してもらいたい。どんなことにもくじけない打たれ強い子ども。誰をも受け入れる子ども。そういう子どもが本市で育ってほしい。

吉田議員 教育目標の具

現化として、教育予算が考えられていくと思うので子どもたちのために多くの予算を使い、伸ばしていってほしい。

その他の質問事項

・ゼロ予算事業について
職員からの自発的な意見、考えで増えていることを評価したい。



ふくだ だいいちろう
福田 大東 議員 小浜町

どうする観光振興対策

福田議員 厳しい世界経済不況の中、低迷する、本市観光の実態。具体的対策は。

中山観光物産まちづくり推進本部長 厳しい状況ではあるが、日本人の持つ特性、求めている旅行形態を的確に捉え、「安・近・短」に即した、県内や福岡地区を重点に地域を絞った宣伝活動を徹底的に行う。

具体的には、

①雲仙国立公園指定75周年を記念し、全てに75周年の冠をつけて宣伝活動を展開する。

②飲料メーカーとのタイアップにより、九州ご当地グルメグランプリの開催。

③県と連動した、NHK大河ドラマ「龍馬伝」をモチーフに龍馬が本市に残した足取りを洗い直し、龍馬イベントに参加、PRをする。

④ジオパーク推進事業の積極展開。

⑤県観光振興推進本部と連動した観光対策緊急事業の展開。

以上の計画策定をし、年間観光客総数400万人、宿泊延べ150万人の努力目標を立て取組む。

「雲仙温泉地区」に於ける過疎化の実態は

畑中政策企画課長 雲仙地区の人口は、平成11年1469名、本年度1139名であり、10年間で330人減少している。小学生においては、平成10年度に85名であったものが、本年度は46名となっており、10年間で39名減少している。

福田議員 この10年間で銀行も2つなくなった。

中学校も閉校した。現在人口1139人、である。1000人を切るのは時間の問題と、危機感を抱いている。

そこで提案であるが、パークホテル跡を、子育て専用の市営住宅に出来ないか。

奥村市長 提案されたことについては、できるかどうか、考えてみたい。

教育改革について

福田議員 今日、児童虐待、いじめ、ひきこもり、不登校、殺傷事件等が多発している。これもわが国の教育の退廃と考える。道徳教育、倫理教育の欠如をどの様に捉えているか。

塩田教育長 そのように思う。

現在、教育委員会では初任者研修会や10年経験者研修会においても道徳を重視した教員指導を行っている。



おおくば しんいち
大久保信一 議員 吾妻町

農家支援対策について

大久保議員 雲仙市原油高騰緊急特別対策事業は専業農家、認定農業者の面積に対しての支援となっている。土地を必要としていない、購入飼料を主に経営している畜産農家への支援はないのか。

奥村市長 この問題については、事業を策定する際に、各関係機関、組合等にも聞き取りを行い、検討した。飼料の高騰対策においては、畜種により使用する飼料の数量、その購入先が多岐にわたり、一律の補助を行うことが困難と判断した。市としては、自給飼料の増

産による負担緩和として耕作農地に対する補助で対応した。今後、価格安定基金の制度に加入農家については、基金積み立てに係る負担の軽減策等を研究し、食品残渣を原料としたリサイクル飼料、飼料米をもみ貯蔵しての給餌が例として報告されており、関係機関と協議を踏まえ、補助事業等の採択に向け研究しているところである。

市道吾妻中突提線の改良舗装は

大久保議員 この路線については一部の同意がでず現在中断している。地元からも要望が強い土井川近くに路線変更はできないか。

吾妻土井・田ノ平線の路線変更の考えは

島田建設整備部長 現地を確認した。現在、当路線の横の排水路の改修事業が県によって実施されている。工事が完成する年度に県と協議し判断をさせてもらう。

大久保議員 この道路は、吾妻干拓地の中堤防を道路として利用し、昭和61年に町道に認定された道路で、吾妻干拓地出入口として、また、地域の人々の散歩、ウォーキング、自転車での運動コースとして利用が多い道路である。この道路の凹凸がひどく危険である。舗装の考えはないか。

島田部長 現計画路線の変更は困難と考えている。付近にある既存の道路を改良し軽減できないか考えている。

議員提案の路線については、今後地元自治会の方と充分協議をさせてもらう。



まつお ふみあき 愛野町 議員

松尾 文昭 議員

農工商連携による地域の活性化について

松尾議員 国のほうでも数年前から推奨され長崎県の農林部農政課でも取り組みがなされている。各地域でシンポジウム、講話がなされているが、市としての取り組み、また組織については。

奥村市長 雲仙市においては、「農林水産ゆめみらい事業」の提案型や「雲仙夢トライアル事業」等で支援してきたい。また、農工商連携を推進していく上においては組織づくりが重要なプロセスになってくる。農協、商工会が取り組まれる組織作りに支援し、それに伴い、農工商連携が組織され、新たな商品開発やブランド等が図られ

ることにより地域の活性化につなげたい。

青少年の健全育成について

松尾議員 雲仙市が合併して4年目を迎える、雲仙市の青少年健全育成協議会が、一元化した育成活動ができないか。

塩田教育長 各地区で地域の特色に応じた活動がなされている。青少年健全育成に対する主な取り組みとして、体験型講座教室の開催、放課後子ども教室など各種団体の活動方針、及びそれぞれの団体で自発的な運営となるよう今後も指導支援していきたい。

松尾議員 地域で異なった活動がなされている。たとえば、パトロールのステッカー、青パト、などの巡回にしても有ったり無かったり、全体で取り組めないのか。

山野教育次長 保護者の方々、地域、それと関係団体の皆様方の支援、協力を得ながら、安全教育

を推進していきたい。雲仙市の皆様方は大変協力的であり、これからも一本化を模索しながら金のかからない心の通った安全教育等を推進したい。

丸尾・瑞穂斎苑の整備について

松尾議員 煙突についても老朽化がひどいが、丸尾斎苑の炉の改修計画はどうなっているか。瑞穂斎苑の整備については、斎苑に標識を設置する考えはないのか。炉についても1、2番の炉と焼骨台の改修については。

今崎市民生活部長 丸尾斎苑の炉の改修計画は、今回実施予定の煙突の改修に合わせて炉内レンガの改修も実施したいと考えている。瑞穂斎苑については、地元の自治会、利用される方の意見を拝聴しながら看板設置に必要な箇所を含め、設置を検討したい。炉については、老朽化した箇所もあり、毎年保守点検をし、早期に改修を必要とする箇所から順次改修する。

うえだ あつし 瑞穂町 議員

上田 篤 議員

生活保護の適用は申請者の立場に立って

上田議員 憲法第25条第1項には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とある。これを尊重しなければならぬ「年越し派遣村」では多くの人に生活保護の認定が素早く行われた。特に3つの点に注目した。

- ①稼働能力があっても適当な求人がない場合は、生活保護の対象とされたこと。
- ②定まった住所がないことも問題にされなかったこと。

③申請から決定まで期間が4日以内という素早さだったこと。

市ではどうなっているか。

辻市民福祉部長 生活保護法第24条では、生活保護の申請があった時は、保護の要否、種類、程度及び方法を決定し、申請のあった日から14日以内に通知しなければならない。ただし、特別な理由がある場合には、これを30日まで延ばすことができる、とされている。

保護の申請があった時点で、手持ち金もなく、住居の確保もできない方は、長崎市や佐世保市の救護施設への一時入所等により対応している。ホームレスの調査は、毎年1月に実施している。

上田議員 私が注目しているのは、市としても確認しているのか。

辻部長 ある程度柔軟に対応している。14日以内の決定をめざすが、調査などで、それより日時がかかるのが現実だ。

奥村市長 憲法については、当然遵守する気持ちはある。雲仙市民の生命、財産を守るために一生懸命頑張りたい。

上田議員 今後3点の改善をしてもらいたい。

- 1つは職員の憲法25条についての認識を深めること。
- 2つ目は、申請用紙を福祉事務所だけでなく、本庁や総合支所の目につく場所に置くこと。
- 3つ目は、生活保護対象者が緊急避難的に入れるような宿舎を確保すること。

辻部長 申請用紙はそのままの扱いで対応する。空き部屋等の確保はできないが、事例も少ないので救護施設の利用で対応したい。



小田 こうめい
国見町 孝明 議員

交通道路対策を 主体的に進めよ

小田議員 国道251号
多比良地区の歩道とバス
停車帯は交通上の必要性
は高いのに整備が遅れて
いるのはなぜか。

題点を自治会で検討され
ることになっている。

小田議員 市は行政を進
めるについて地域住民の
理解や協力を得ることは
もちろん大切であるが、
安全な環境に整備するこ
という責務から、もっと主
体的に取り組むべきであ
る。平成16年には死亡事
故も起きている。

耕作放棄地の活 用で地域の再生

小田議員 耕作放棄地が
増えているようだが面積
はどのくらいか。

東農委事務局長 農業委
員の実態調査の平成19
年度結果は水田63ha、畑
269ha、合計332
ha。その内、耕作可能な
水田40ha、畑150ha、
合計190haである。

小田議員 牛の放牧や市
民農園に活用できない
か。

酒井農林水産商工部長
牛の放牧はゆめみらい事
業の中のひとつとして積
極的に進めたい。

東局長 市民農園は自治
体や農協の外、個人でも
運営できるよう農地法が
改正された。

介護保険を生か し地方を元気に

小田議員 市内のグルー
プホームは国のスプリン
クラー設置補助事業の対
象になるのか。

辻市民福祉部長 21事業
所の内、3事業所が床面
積が基準未満で対象外。

小田議員 3事業所も設
置できるよう対策をとる
べきである。また、通所
介護を実施している事業
所は何箇所か。

辻部長 一箇所が実施、
書類不備で保留が一件。

小田議員 昨年9月申請
された事業者は不承認と
思っている。保留であれ
ば介護保険組合事務局は
ただちに指導して通所介
護が実施できるように対
処すべきである。

その他の質問事項

- ・福岡・雲仙間のバス路
線(有明フェリー経由)
等について
- ・グループホーム入所の
居住要件(3年)につい
て
- ・島原地域高規格道路
(ルート)について
- ・乗り合いタクシーの実
証実験について



いわな なおき
吾妻町 基和 議員

市道吾妻土井、 田の平線につい て

岩永議員 この道路は、
市道を挟んでの新工場を
設置した場合に、一般の
通行を妨げることにな
り、地域の人たちの理解
をいただき、平成18年に
廃止され、市は、地域の
住民のため代替道路を計
画した。幹線道路として
平成19年度に事業の計画
がされ、地域の住民は
大いに期待し、早期完成
を待望している。ところ
が、代替道路はいまだに
着工できずにいるが、そ
の理由は何なのか。

島田建設整備部長 工業
団地の前の市道を払い下
げたことに伴う代替道路
として、平成19年度に計
画をした路線である。関
係自治会長に事業に対す
る内容と経過を説明した
上で、今後の方針を協議
した。その結果、一時中
断との結論に至り、現在
中断をしている状況であ
る。

岩永議員 その原因は排
水対策でないかと思う。

一番低い所であるため
に、雨期の時、そして、
西光寺、萩の本からの水
が大量に小路川をたどっ
て、現在計画された所に
集中する。用水路対策の
検討はされたのかどう
か。

島田部長 いつまでも、
皆様方に不自由さを与え
てはいけないということ
で、やはり既設の道路を
改良しながら、不便性の
軽減が図られないかと考
えている。

島田部長 本線の川幅が
非常に狭いということ
で、なかなか方向性が見つ
かなくったということ
で、現在においては様子
を見ている所である。



しばた やすのぶ
柴田 安宣 議員
愛野町

県央県南広域環境組合の運営について

柴田議員 現在、本組合は訴訟中であるが、敗訴することになれば、長期的に見て、2百億円を越す負担を市民が負わなければならぬ。
今のうちに、最初から携わっている管理者や事務局長に経過について構成市の市長として調査する考えはないか。

奥村市長 本年2月の組合会議の中で、調査に関する決議が否決されたところである。そのため、組合副管理者の私としては組合議会の議決内容を尊重していきたい。

法改正による高齢者福祉の対応は

柴田議員 法の改正により介護認定が厳しくなっており、今年の改正では更に厳しくなることが予想される。これにより介護を受けられない高齢者が予想されるが、その対応を考えているか。

辻市民福祉部長 平成21年4月からの制度改正により、要介護度が現在より軽度の判定となり、日常生活に大きな支障が生じているとの相談があれば、ケアマネージャーを通じてケアプランの見直しを行うなど適切な対応をとっていく。

免許外授業を解消する考えはないか

柴田議員 市内中学校で免許外授業が行われているが、行政の力で安心・安全で快適な学校生活が送れるよう解消に努めるべきと考えるが。

山野教育次長 市内中学

校8校のうち、5校で免許外授業が行われている。各教科の時間数が均一でないため、どうしても時数の多い教科が免許外が生じてくる場合がある。免許外教科の担任については県教委の教科担任の許可を受け授業を行っている。

全国和牛共進会開催に向けての推進策は

柴田議員 全共の成功へ向け関係者を網羅し市独自の実行委員会を立ち上げて対応する考えはあるか。

雲仙牛ブランドは一気に全国ブランドになる絶好の機会と思うので、市としても優秀な元牛の産地にする考えはないか。

酒井農林水産商工部長

市独自の実行委員会は、今は考えていないが、取り組みは充分やっていると考える。雲仙市を優秀な元牛の産地にする考えについては、「雲仙市農林水産ゆめみらい事業」で対応したい。



もともむら やすかず
元村 康一 議員
小浜町

道路行政について

①愛野小浜バイパス建設について

元村議員 島原半島の道路網整備は北東部に比べ南西部は決して十分とは言えない。特に小浜愛野間は国道57号が一本だけで、広域農道もこの2区間のみが途切れている。災害対策や渋滞解消策としても必要である。先月2月22日久間代議士と会い、南島原市の日向議長と私からそれぞれ建設実現に向けて、必要性和強力な支援を訴えた。結論として半島3市長と久間代議士も入って、知事への陳情を3月中旬に計画するということになったが、市長の考えは。

奥村市長 3市が合同で地元国会議員を伴って知事に要望活動をするのは大変有意義である。できるだけ3月、時期を逃さずやってみようと思う。

②市道小浜金浜木場線の県道昇格と側溝整備について

元村議員 県道小浜北有馬線の金浜から山畑区間のバイパス的に利用され、一日に約2,300台が国道251号まで下りている。現在建設中の県道も野中地区を通過してこの道路に出てくる。そうなる県道としての役割が大きい。県道昇格申請と、側溝に蓋をかぶせてほしい。

元村議員 市道の飛子橋から国道にかかっている橋までの川の上に蓋をかぶせると真つすぐに国道につながる、国道からの出入りはもちろん上光手地区からの出入りも楽な形となるがいかがか。

島田部長 現地を調査し、国道等の関係機関とも協議しながら効率的、効果的な対策を検討していきたいと思う。

雲仙市公共工事発注及び物品調達について

他議員との重複のため取り下げる。

職員及び嘱託職員の採用のあり方について

担当課と協議し理解できたので取り下げる。

③市道小浜中飛子上長山線から国道251号までの改修整備について

議会を傍聴してみませんか？

平成21年第2回（6月）
議会定例会会期予定

会期 6月4日(木)～6月23日(火)まで(20日間)

月 日	曜	種 別	内 容	月 日	曜	種 別	内 容
6月4日	木	本会議	開会、議長報告、市長報告 議案上程・提案理由説明	12日	金	本会議	議案質疑・委員会付託
5日	金	休 会	議案調査日	13日	土	休 会	
6日	土	休 会		14日	日	休 会	
7日	日	休 会		15日	月	委員会	議案審査 産業経済
8日	月	本会議	一般質問	16日	火	委員会	議案審査 教育厚生
9日	火	本会議	一般質問	17日	水	委員会	議案審査 建設
10日	水	本会議	一般質問	18日	木	委員会	議案審査 総務
11日	木	本会議	一般質問	19日	金	休 会	委員会審査予備日 報告書まとめ
				20日	土	休 会	
				21日	日	休 会	
				22日	月	委員会	議会運営委員会 正副委員長会議
				23日	火	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

表紙のはなし

平成21年4月7日、市内中学校において入学式が挙行されました。式終了後、緊張が解け、思わず笑顔の女子生徒たちでした。



※あくまでも予定ですので、一般質問者数などにより日程が変わることもあります。

詳細については、5月25日(月)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

編●集●後●記



今年は桜前線が北の方から始まり、梅、桜、桃の花だよりがほとんど変わらぬ時期に一齐に届くという、春爛漫の季節になりました。

卒業式や入学式、職場においては人事異動もあり、あわただしい日々であります。

3月議会も終わり4月より平成21年度が始まり議会だよりも皆様にとって「正確に、よき読みやすく」と心がけております。

しかし、ページの都合で議員の思いが伝わりにくいことを感じてもしかたない思いをしな

議長 増山良三
副議長 吉田美和子
委員 中村孝
委員 小田安宣
委員 柴田康則
委員 町田洋文
委員 原田善彰
委員 深堀

がら編集を行っています。

「議会だより」は議会と市民のかけ橋の思いで取り組んでおります。皆様の御意見など寄せていただければ、より充実した「議会だより」ができると思います。

(S・Y)

